

## 2016 年度加速器質量分析装置利用(共同利用)採択一覧

\* 所属機関・職名は申請時のとおり

研究代表者	所属機関*	職名*	所内担当教員	研究課題
佐藤 興平	気象庁	非常勤講師	南 雅代	火山体崩壊に起因する火山災害軽減のためのパイロット研究
増田 公明	名古屋大学	准教授	増田 公明	年輪中炭素 14 測定による過去の太陽活動及び宇宙環境の研究
Wallis, S.	名古屋大学	教授	南 雅代	アンデス山脈における湖段丘の変形と地殻におけるマグマ流動
三宅 美沙	名古屋大学	特任助教	北川 浩之 南 雅代	過去 5000 年間の超巨大 SPE 頻度の解明
佐藤 亜聖	元興寺文化財研究所	主任研究員	南 雅代	日本における家畜導入についての基礎的研究
坂井 亜規子	名古屋大学	研究員	南 雅代	北半球における大気中炭素 14 濃度の地域差とその経年変化の把握
植村 立	琉球大学	准教授	南 雅代	沖縄県の鍾乳洞における滴下水の 14C 濃度
高橋 浩	産業技術総合研究所	主任研究員	南 雅代	沈殿法による海水試料の放射性炭素分析の高精度化に関する研究
渡邊 彰	名古屋大学	教授	渡邊 彰	熱帯泥炭の炭素循環プロセス:開発インパクトの学際的評価
岩花 剛	アラスカ大学フェアバンクス校	Research Associate	檜山 哲哉	永久凍土を利用した古環境復元の可能性
池盛 文数	名古屋市環境科学調査センター	研究員	中山 智喜 南 雅代	大気エアロゾルの炭素フラクションの 14C 測定
小元 久仁夫	(日本大学)	元教授	南 雅代	ビーチロック試料の正確な膠結年代決定法の開発
堀 和明	名古屋大学	准教授	北川 浩之	海水準変動や気候変動が河川・海岸地形の形成に与える影響の解明
藤木 利之	岡山理科大学	講師	北川 浩之	ベトナム中央高原の火山湖堆積物の年代測定
吉田 英一	名古屋大学	教授	南 雅代	炭酸塩天然コンクリーション形成速度の算出
中村 俊夫	名古屋大学	招へい教員 (名古屋大学名誉教授)	南 雅代	高精度の 14C 測定達成にむけて:測定プロセスの全過程の検討
持田 陸宏	名古屋大学	准教授	北川 浩之	インド都市域の大気有機エアロゾルの起源の解析
中西 利典	福岡大学	ポストドクター研究員	南 雅代	唐比低地における古環境変遷および千々石断層の活動履歴の評価
奥野 充	福岡大学	教授・所長	南 雅代	アリューシャン列島とエチオピアにおける生態考古学に関する日露共同研究

研究代表者	所属機関*	職名*	所内担当教員	研究課題
小林 哲夫	福岡大学	客員教授	南 雅代	環太平洋地域の活動的火山の高精度年代学的研究
宮田 佳樹	金沢大学	博士研究員	南 雅代	遺跡出土遺物を用いた古食性, 古環境復元研究